

トラベリングDAY

モンゴルDAY

～聴いて、触れて、知る馬頭琴の世界～

2026年

12月6日(日)

13:30～15:30 (13:00開場)

入場無料

定員50名

交流ひろは 2F
フリースペース

酒田市中町三丁目4-5



【申込】



申込フォーム

11月2日(月)～
12月2日(水)の
間に申込フォ
ームからご予約
ください。

【プログラム】

- ★馬頭琴ライブ
- ★モンゴルの文化紹介
- ★馬頭琴に触れてみよう
(体験ワークショップ)

【講師】

馬頭琴奏者 渡辺圭一氏
(プロフィールは裏面)

主催 酒田市国際交流サロン企画運営委員会 酒田市共生社会課
共催 山形県国際交流協会

お問合せ 酒田市国際交流サロン

☎ 0234-26-5615

✉ kokusai@city.sakata.lg.jp



悠久の草原に響くあたたかな音色——「馬頭琴」とは？

小学校の国語の教科書「スーホの白い馬」でも広く親しまれているモンゴルの伝統弦楽器「馬頭琴（ばとうきん／モリンホール）」。

棹の先端に精巧な馬の頭が彫られているのが大きな特徴で、弦と弓には馬の尾毛が使われています。

2003年にはユネスコ無形文化遺産にも登録された、世界を魅了する美しい響きをぜひ間近でお楽しみください。



当日のプログラム

★馬頭琴ライブ

プロの馬頭琴奏者・渡辺圭一氏による本格的な生演奏をお届けします。馬頭琴ならではの豊かな音色をご堪能ください。

★モンゴル文化紹介

講師がモンゴルで撮影してきた草原や遊牧民の暮らしの映像を見ながらモンゴル文化のお話を聞きます。

★馬頭琴体験ワークショップ

実際に馬頭琴に触れて、音を出してみる体験コーナーです。お子様から大人の方までお気軽にご参加いただけます。

講師 Profile



馬頭琴奏者 渡辺圭一氏

ベーシストとして音楽キャリアをスタートさせ、数々のアーティストのライブサポートやレコーディングに参加。その後、馬頭琴奏者・嵯峨治彦氏の音色に出会い、松島「円通院」でのステージを機に、馬頭琴奏者としての活動を本格化させる。モンゴルへも渡り、ゴビ砂漠で行われる遊牧民の祭りをはじめ、現地の保育園や村の集いなどで演奏。また、「エルデネダライ村100周年記念祭」には日本人として招待され、現地の人々との交流を深める。テレビドラマ・アニメ・ゲーム音楽などの劇伴に演奏参加するほか、山形大学で特別講義を行うなど、現在は仙台を拠点に活動。2026年には、2NDソロアルバム『いもはちにとぅ』を発表。